

通信「ちえふる」

令和3年3月10日発行

感性を磨いて新学期を迎える

時節柄、受験生はもちろんですが、中高生にとって、1年の中で今の時期が一番リラックスできる時ではないかと思います。しかし、プロ野球やJリーグのシーズン開幕前のキャンプ同様、この時期は勉強にとっても重要な準備期間でもあるのです。新学期をスムーズにスタートさせるためにも、今すべきことの中から、今回は「感性」について書いてみたいと思います。

(1) 感性を磨くと学ぶ力がアップする

感性には様々なとらえ方がありますが、ここでは、単に感受性というだけでなく、「物事を五感で感じとったうえで、それを理性や思考回路を通して自分で判断し表現する力」としてとらえたいと思います。少し難しく説明しましたが、感受性を豊かにするだけでなく、五感で感じとったことを自分なりに咀嚼しアウト・プットすることです。感性が勉強にどう役立つかという、集中力・記憶力の向上が図られ、洞察力が増すとともに発想力・思考力・表現力が豊かになります。つまり学習したことをもとに問題や課題を高い集中力で多角的にまた柔軟に見ることができるようになり、学ぶ力や問題解決能力が確実に向上します。逆に言うと、勉

強が上手くいっている人は、日頃から感性が磨かれている人かもしれません。この春休みは出された課題をこなすだけでなく、このようなことを頭に入れた上で、新学期までの準備期間を過ごすことをおすすめします。

(2) どうしたら感性は磨かれるか

感性を磨くことはそれほど難しいことではありません。簡単に言うと、五感に新しい刺激を与えるような日常あまりしないことをすることです。具体的にいくつか挙げてみたいと思います。①知らない場所に行ってみる(いつもは通らない道を通るだけでもOK) ②美術、音楽、演劇、映画、本などの一流の物、本物に触れる ③自然に触れて五感を意識的に使うことをする等々 他にもできそうなことはいくつもあると思いますので、自分にとって五感を刺激するようなことを考えて是非トライしてみてください。そして、その感じ取ったことを言葉に置き換えたり、絵や図に描いたりするなど、具体的にアウト・プットすることです。

感性は短期間で磨かれるものではありません。そして、一度磨けばずっと続くものでもない、常に意識して継続することが重要です。また、同じことだけを繰り返していると五感が刺激されにくくなるので、そうならないような工夫が必要です。この春休みを機に感性を磨くことで、今まで以上に新しい気持ちで新学期をスタートすることができるようになると思います。

感性を磨けば、同じことを見聞きしても、ものの見方や感じ方が変わります。皆さんにとって明るく希望に満ちた新学期を迎えられるよう、そして充実した1年になるようお祈りしています。